

第18回Wリーグ

プレーオフ・セミファイナル 第3戦

会見要旨



トヨタ自動車アンテロース(2勝1敗)

■ドナルド・ベック ヘッドコーチ

まずはシャンソンのチームにもおめでとうと言いたい。選手たちも一生懸命プレイしていたし、とても頑張るチームであった。そのような相手から勝利を勝ち取るのは、とても難しい試合だった。

トヨタ自動車はディフェンスが中心のチーム、選手たちもしっかりとこのチャレンジを受け止め、チームとしてやるべきディフェンスが出来た試合だったと思う。

■#1 大神 雄子 選手

今は素直に、次も、このチームで試合が出来るという喜びを感じている。試合を振り返ると、1度も逆転されずに踏ん張れたのも、すべてはディフェンスだったと思う。自分たちにとってはビッグチャレンジになるが、次のチャンスを貰えたので、自分たちが成長出来るようにもう1回みんなでそれを追及して頑張りたい。ベックHCには常に練習から一瞬一瞬を楽しめと言われていた、今日は緊張しながらも、楽しもうというポジティブなマインドに持っていたので、とても良い緊張だった。トヨタの選手みんなの勝ちたいという気持ちが、自然にディフェンスの時のコミュニケーションにつながった。ボールが止まるたびにみんなで声を掛け合った、時には若い選手たちに自分たちベテランが引っ張ってもらったこともあった。ここという勝負時には、「自分たちが、もう1回全力で走ろう！」など、明確なことを話せた。これこそがチームの勝利だと思う。

■#12 矢野 良子 選手

今日は開始からトヨタのペースで入れた。ブレイクが出るなど、1Qの3～4分くらいで自分たちの流れを作ることが出来たと思う。まず、そこでリードして試合に入れたことが良かった。その後、得点が止まった時間が長かったが、相手に1度も逆転されることなく、試合運びが出来たことが、今日の試合の勝因だと思う。後半も沢山ファールを吹かれてしまったが、選手たちがしっかりと我慢出来た。今日の試合に迎えるにあたり、2戦目から1日空いたことで反省する時間が沢山あった。2戦目に失敗したことを今日の試合ではやらない、具体的には守りを固め、オフェンスで勢いをつけること。後半にあったような試合が停滞している時間帯（追い上げられている時間帯）はどんな試合でもあると思う、今日はそこで選手が我慢し、全員が強い気持ちで集中出来た。今日の試合はチーム全体で勝ち取った勝利だと思う。

第18回Wリーグ

プレーオフ・セミファイナル 第3戦

会見要旨



シャンソン化粧品 シャンソンVマジック(1勝2敗)

■ チョン・ヘイル ヘッドコーチ

今日の試合は最初から良くなかった。選手には1Qからが大事、前半が大事だと言っていたのにも関わらず、相手と逆になってしまった。選手の疲労という面では、トヨタ自動車のほうが選手のローテーションはうまくいったと思う。いろいろな意味で自分たちのバスケットが出来なかった。

■ #8 藤吉 佐緒里 選手

今日は、1Q出だしから自分たちのプレイが出来なかった。スタートから相手の足の方が動いていた。自分たちのオフェンスが止まってしまって、それがディフェンスにもつながった。相手のディフェンスがアジャストして簡単には自分たちボールが廻らなかった。そのために無理な攻め方や無理なシュートになった。さらにはイージーシュートが外れ、このような結果につながったと思う。